

本冊子の構成について

▼ 本書は本土部レッドリストの解説版

東京都では、自然環境の特徴が大きく異なる本土部と島しょ部に分けて、保護上重要な野生生物種のリストを東京都版レッドリストとして作成している。また、レッドリスト掲載種の生息状況等を取りまとめ編さんしたものがレッドデータブックであり、それらの本土部の作成状況や本書での記載名等は表1のとおりである。

令和3(2021)年に本土部レッドリスト2020を公表したところであるが、今回、その後に得られた新たな情報などをもとに、「植物」、「哺乳類」、「淡水魚類」、「昆虫類」において、一部の対象種やレッドリストのカテゴリーを見直し、本土部レッドリスト2020年見直し版とした。本書には、本土部レッドリスト見直し版に掲載された種の解説等を記載した。

表1 東京都版レッドリスト・レッドデータブック改定のながれ(本書:赤枠部分)

		第1次リスト	第2次リスト	第3次リスト	
レッドリスト	発行年	平成10(1998)年	平成22(2010)年 2013年5月修正	令和3(2021)年	令和5(2023)年 一部評価を見直し
	名称	東京都の保護上重要な 野生生物種 (1998年版)	東京都の保護上重要な 野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部) 2010年版	東京都の保護上重要な 野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部) 2020年版	東京都の保護上重要な 野生生物種(本土部) 東京都レッドリスト(本土部) 2020年見直し版
	本書での 記載名	レッドリスト1998	本土部レッドリスト2010	本土部レッドリスト2020	本土部レッドリスト2020見直し版
レッドデータブック	発行年	平成11(1999)年	平成25(2013)年	令和5(2023)年	
	名称	東京都の保護上重要な 野生生物種 東京都レッドデータブック普及版	レッドデータブック東京2013 東京都の保護上重要な 野生生物種(本土部)解説版	東京都レッドデータブック(本土部)2023 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版	
	本書での 記載名	レッドデータブック1999	本土部レッドデータブック2010	本土部レッドデータブック2023	

▼ 専門家との連携

本書の作成においては、令和2(2020)年度から約2年に渡り、本土部レッドデータブック2023のあり方を検討する「専門家会合」と、具体的な編集内容を検討する「編集検討会」を設置し検討を行った。構成メンバーを次頁に示す。また、本土部レッドリスト2020見直し版の作成においては、見直しを行った分類群では本土部レッドリスト2020の各専門部会の方々に御意見と承認をいただき、本土部レッドデータブック2023の専門家会合で最終的な承認をいただいた。また、IV章の執筆者については章の最後に一覧でお示した。協力者については主にレッドリスト評価に関わる方々はI章に、レッドデータブック執筆に関わる方々はIV章の種別解説の中や各分類群の最後にお示した。写真提供者については各章の最後(IV章のみ各分類群ごとの最後)にお示した。

本書の作成において得られた新たな知見や情報等をもとに、本土部レッドリスト2020から修正、追加、充実した内容は次頁のとおりである。

なお、本書の編集作業や各種調査の取りまとめ等については、株式会社愛植物設計事務所と有限会社ゼフィルスが、令和2(2020)年度から約3年に渡り東京都から業務を受託して実施した。

本土部レッドデータブック2023 専門家会合	本土部レッドデータブック2023 編集検討会
大場秀章 東京大学名誉教授 (植物) 内野秀重 八王子市長池公園園長 (植物) 北山太樹 国立科学博物館研究主幹 (藻類) 石井信夫 東京女子大学名誉教授 (哺乳類) 金井 裕 日本野鳥の会参与 (鳥類) 福山欣司 慶応大学教授 (爬虫類・両生類) 宮崎佑介 白梅学園短期大学准教授 (淡水魚類) 須田真一 東京大学総合研究博物館 (昆虫類) 武田正倫 国立科学博物館名誉館員 (その他無脊椎動物)	内野秀重 八王子市長池公園園長 御手洗望 青梅自然誌研究グループ 草野 保 元首都大学助教 須田真一 東京大学総合研究博物館 宮崎佑介 白梅学園短期大学准教授 黒住耐二 千葉県立中央博物館上席研究員

※上記は令和2年度及び3年度に開催された。(所属は令和4年3月現在)

本土部レッドリスト2020の目次	本土部レッドデータブック2023で追加・修正・充実させた主な内容
I 選定・評価方法	淡水魚類については、専門部会メンバーが一部交代し、令和3年度に現地調査を行い、それに基づき評価を見直している。 「1. 調査の体制」は〈爬虫類・両生類・淡水魚類部会〉の淡水魚類専門部会員が変更となった。 「4. 調査方法」は、淡水魚類の補完調査を行ったため「(2) 現地確認調査」で追加記載を行った。また、新たに種別解説として分布図を掲載するとともに、減少要因について解説を行ったため、「(3) 分布図の作成」、「(4) 減少要因の把握」を追加した。 また、本土部レッドリスト2020の一部見直しを行ったため、「6. 本土部レッドリスト2020の見直し」に関する記載を追加した。
II 選定・評価結果の概要	検討対象種及び掲載種の種数、分類群別の地域区分及びカテゴリー別種数内訳、前回掲載種で今回対象外となった種の一覧で構成されていたが、これらを「1. 選定・評価結果の概要」とし、「2. 東京都レッドリスト (本土部) の経年変化」を加えた。 前回掲載種で今回対象外となった種については、一覧を示すと共に対象外となった理由を示した。 「2. 東京都レッドリスト (本土部) の経年変化」では、主に前回 (2010年度版) レッドリストからの変化等について考察した内容を加えた。 目次タイトルを「II. 選定・評価結果」に変更した。
III 自然環境の概要	「1. 東京都本土部の自然環境の概要」では、写真などを加えた。「2. 保護上重要な野生生物種 (本土部) の減少要因」を新たに加え、その解析結果を記載した。 目次タイトルを「III. 自然環境の概要と減少要因」に変更した。 「コラム」として、東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) に関連する内容を「東京の保護上重要な自然環境の紹介」「保護上重要な野生生物種の保全・再生事例の紹介」「東京にゆかりのある希少な野生生物種の紹介」の3項目に掲載した。
IV 保護上重要な野生生物種	分類群毎に種別解説を記載した。 分類群毎の「総説」(「選定・評価方法の概要」)、「選定・評価結果の概要」で構成)は、新たな知見から一部修正し写真等を加えた。 種別解説は記載項目を整理し、分布図を掲載できる種については加え、写真の一部はより適切なものに差し替えた。
V 評価作業を終えて	「V. 今後に向けて」として次の改定に向けた課題を記載した。 「東京都の保護上重要な野生生物種 (本土部) - 東京都レッドリスト (本土部) 2020年見直し版」とともに、本土部レッドリスト2020から評価を見直し、カテゴリー等を変更した種の一覧も示した。
索引	植物と動物を区分せず和名と学名のそれぞれで構成した。